

令和7年度

久留米高校 LIFE — 英語科生徒の活躍 —



久留米高校は筑後地区で唯一の英語科設置校になります。英語科は県内に4校設置されており、各地区(福岡、北九州、筑後、筑豊)で国際教育等の拠点として重要な役割を果たしています。久留米高校の英語科生徒の活躍の一部を紹介します。

【第4期「Stanford e-Fukuoka」プログラムにて成績優秀者に選出され、スタンフォード大学に招待されます】

「Stanford e-Fukuoka」プログラムは、福岡県と在福岡米国領事館が連携し、スタンフォード大学が開発・運営する県内高校生向けの英語教育プログラムです。日米関係の将来を担うリーダー育成を目指し、国際的なテーマを英語で学び、プレゼンテーションを行う実践的なプログラムです。2年生英語科のケニョンさんが、当プログラムで成績優秀者に選出され、8月にスタンフォード大学に招待されることになりました。ケニョンさんの感想になります。

今回、スタンフォード e-Fukuoka プログラムに参加し、英語を使って社会課題について深く考え、仲間と協力しながら一つの成果を作り上げる貴重な経験をする事ができました。プログラムでは、地域や世界が抱える課題について英語で議論し、自分自身の興味関心をもとに調査・発表を行いました。特に、仲間と意見を交わしながら考えを深めていく過程はとても刺激的で、学ぶことの楽しさを改めて実感しました。また、英語で自分の考えを伝える機会が多くあり、特にスピーキング力が大きく向上したと感じています。オンラインや対面で行われた Yamashita 先生の講義では、自分がこれまで知らなかった世界の課題や現状について学ぶことができ、視野が大きく広がりました。今回得た学びを、今後の学校生活や進路選択にしっかりと活かしていきたいです。(英語科2年生 ケニョンさん:諏訪中学校出身)



【国際交流会】

毎年12月に筑後地区の高校生留学生と本校英語科生徒が相互に親睦を図り、異文化に対する理解を深めることを目的とし、公益財団法人 AFS 日本協会や本校父母教師会国際交流委員の方と一緒に国際交流会を実施しています。令和7年度は12月20日(土)に行われ、留学生からの母国(フィンランド、スイス、アルゼンチン)の紹介や交流活動が行われ、楽しくも学びが深い時間を過ごすことができました。参加した生徒の感想になります。



美しい景色や文化を交えて留学生が自国を紹介し、実際にその国に行ってみたくなりました。異文化を理解することは視野を広げ、コミュニケーションにおいて、大切だと感じました。

(英語科2年生 伊藤さん:三橋中学校出身)

日本語と英語を使ったゲームやしめ縄づくりの活動などを通して他校の留学生や本校の先輩方と交流ができて、とても貴重な機会となりました。

(英語科1年生 板橋さん:城南中学校出身)



【本校への留学を終えフィンランドへ帰国します】

久留米高校では毎年、英語科の1年生のクラスで留学生が学んでいます。令和7年度はフィンランドからアナベルさんが英語科の生徒と一緒に学びました。帰国を前に1月20日(火)に学年で送別会が開催されました。久留米高校へ留学した感想を書いていただきました。



久留米高校での留学は、とても大切に忘れられない経験でした。毎日の学校生活で、日本の文化や習慣を学ぶことができました。クラスメイトや先生も優しく、たくさん友達を作ることができました。この留学での体験や思い出は、ずっと大切にしたいと思います。(英語科1年生 Annabell さん)



【トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラムの制度を活用し、2名が留学します】

官民協働海外留学支援制度トビタテ！留学 JAPAN 新・日本代表プログラムは、文部科学省が主導し、民間企業からの寄附金を財源として2023年度から開始された海外留学支援制度になります。令和7年度は、本校から2名が参加しています。普通科の上妻さん(三国中学校出身)が、7月から8月にハワイに留学しました。今回は、3月に約1ヶ月ロサンゼルスに留学する英語科の松永さんに留学への意気込みを聞くことができました。

今回、ダンスと英語を学ぶために、一人でLAの留学に挑戦します。「トビタテ！」だからこそ味わえる出会いや経験を通して世界と繋がり、新しい自分を見つけ、成長して帰ってきたいです。(英語科1年生松永さん:小郡中学校出身)